

患者さんパンフレット

四国がんセンター
泌尿器科



私たち医療スタッフは

- I. 入院や手術に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いします

- II. 手術後の苦痛を軽減し、合併症を起こさず順調に回復され安心して退院を迎えられるようにお手伝いします



腎臓の手術を受けられる方へ (腎尿管全摘除術)

さま



主治医

受け持ち看護師

手術までに準備していただきたいこと

- 他の病院で処方され服用している薬がある方は、入院時に必ずお持ちください（原則、入院中は他の病院の受診ができないため、余裕をもってお持ちください）
- お薬手帳をお持ちの方は、入院時に必ずお持ちください
- サプリメントを飲んでいる方は必ずお申し出ください
- 爪の装飾（マニキュア、ペディキュア、マグネットネイル、ジェルネイル、スカルプネイルなど）は入院前に落とし、爪は短く切っておいてください
- まつ毛のエクステンションをされている方は、お知らせください

<以下のものは病院で貸し出し、購入もできます>

- 衣類（パジャマタイプ/ゆかたタイプ）
- バスタオル 2枚
- フェイスタオル 2枚
- ティッシュペーパー 1箱
- 紙おむつ（マジックテープ式） 2枚
- 腹帯 2～3枚（開腹手術の方のみ）
- コップ、曲がるストローまたは吸い飲み
- 水のペットボトル 500ml 1本

「CSセットのご案内」冊子を
参考にしてください

「入院される方へ」の
パンフレットを
参考にしてください



<ご自宅からお持ちください>

- ビニール袋 3枚
(靴、ねまき、下着などを入れるために使います)

*HCUに入室する方は、タオル、バスタオル、ティッシュペーパーなど
ご自身の持ち物に氏名をお書きください

※同意書などは忘れずにお持ちください

医療品ショップ くろ〜ば〜

場所 2階 中央処置室前
営業時間 8:30~17:00
定休日 土・日・祝日・年末年始
電話 (089) 999-1129



手術前の歯科受診について



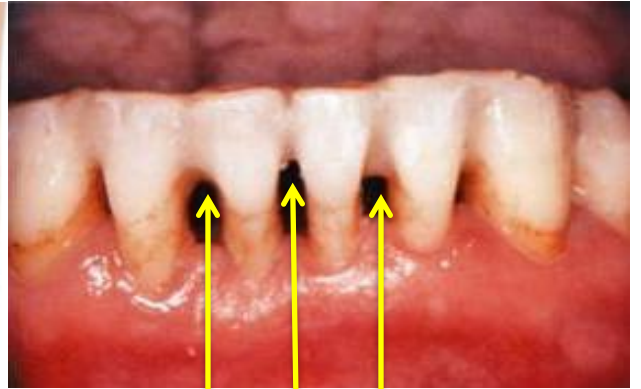
手術時、手術後のトラブルを防ぐために歯科受診が必要です

1. ぐらつきのある歯への対応

→全身麻酔の際、気管にチューブを入れるときに歯が欠けたり抜けたりすることを予防します



マウスピース作製

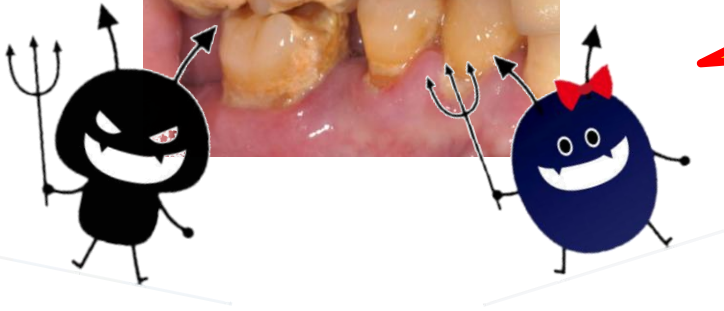


歯と歯の間を接着固定

2. 口の中の清掃（歯石取り、入れ歯のチェック）

→ばい菌が体に悪影響を及ぼすリスクを避けることができます

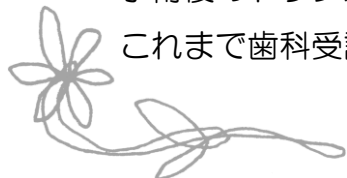
手入れの行き届いていない口の中



手入れの行き届いていない口の中は
ばい菌でいっぱいです

手術後のトラブルを防ぐためにも「かかりつけ歯科医院」をもつようにしましょう

これまで歯科受診をされていない方は、ご相談ください



手術前の機能訓練

体を動かすことにより、痰を出しやすく血液循環を良くして傷の治りを早めます
また、腸の動きを良くして、ガスを出すなど回復を早めることができます

●深呼吸

- ①仰向けに寝て全身の力を抜きます
- ②鼻から大きく息を吸います
- ③口からゆっくりと息を吐き出します
吸う息より吐く息の方を長めにしましょう



●痰の出し方

- ①傷口を手で押さえる、あるいは脇をしめて
小さな咳を2～3回して、徐々に痰を上
上げていきます
- ②最後に少し大きな咳をすると楽に痰を出せます

●うがい

うがいをすることにより、口の中を清潔にしましょう
痰も出しやすくなります

- ①寝たままで顔を横に向けて、うがいをします
- ②静かに舌で流しだすようなイメージで水を吐き出します
このとき飲み込まないように注意しましょう

●体の動かし方

麻酔がさめたら、横向きになってみましょう

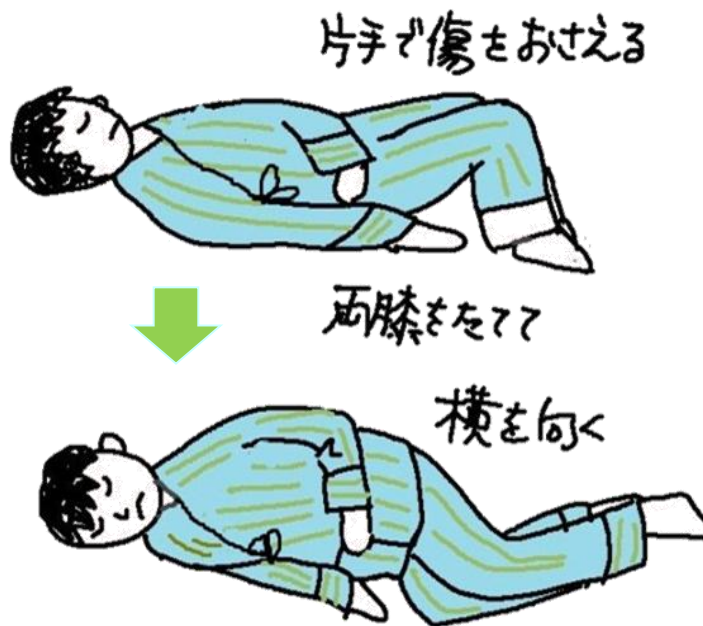
手術後に体を動かすことは、痛みをともないつらいと思いますが

- (1) 痰を出しやすくする
- (2) 血液循環を良くして傷の治りを早める
- (3) 腸の動きを良くしてガスを出す

など、回復を早めることができますので、積極的にがんばりましょう

ー横の向き方ー

- ①傷口を片手で押さえ、両膝を立ててお腹の筋肉をゆるめます
- ②腰を浮かせて体を向ける反対側へ腰の位置をずらします
- ③ゆっくりと体を横に向けます



ー起き上がり方ー

- ①ベッドのリモコンを操作して、ゆっくり90度まで起こします
- ②足をベッドから下ろします
- ③手をベッドにつけて、ゆっくりと体を起こします

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院は約10日間の予定です

手術後の回復は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます





今日の目標

- 入院生活、手術について医療スタッフの説明が理解できる
- 手術の準備をすすめることができる

<時間>	<予定>	
11:00	入院	【入院後に以下のことを予定しています】
12:00	昼食	<ul style="list-style-type: none">• 看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください）• 検温、血圧測定、身体測定• 連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り• 医師より手術の説明があります ご家族の方も一緒に説明をお聞きください• サインをした同意書は看護師にお渡しください• 午前入院の場合は昼食から提供します• わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどが ありましたら、遠慮なくお尋ねください
18:00	夕食	<p><お薬></p> <ul style="list-style-type: none">• 他の病院で処方されたお薬は、一度お預かりします 医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします <p><食事></p> <ul style="list-style-type: none">• 食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください• 基礎疾患（糖尿病・高血圧等）がある方は、治療食になる 場合があります
21:30	消灯	



ご家族の方へ
手術後6日目頃に、栄養士より手術後の食事の注意点や
工夫について説明があります
(体調に応じて日程が変わることもあります)
ご家族の方も一緒に説明をお聞きください

医療スタッフの目標

- 安心して入院生活を送れるように支援します
- 手術の準備をすすめられるように支援します





今日の目標

- 手術について医療スタッフの説明が理解できる
- 手術の準備をすすめることができる

<時間>	<予定>
6:00	起床
7:30	朝食
9:00	回診 血液検査
10:00	検温 血圧測定
12:00	昼食
18:00	夕食
21:30	消灯

<手術前の準備>

- 回診時、医師が手術する部位に印をつけます
- 手術に必要な物品の確認
- 手術前の機能訓練
- おへその掃除をします
- シャワー浴をしましょう
- 足の甲と足首の動脈に印をつけます

手術室の看護師から説明があります
HCU（高度治療室）に入室する場合は、
HCUの看護師から説明があります

<食事>

- 21時以降は**絶食**です

<お薬>

- 手術当日に服用する薬がある場合は看護師よりお知らせします
- 眠れない場合は安定剤を服用することができます

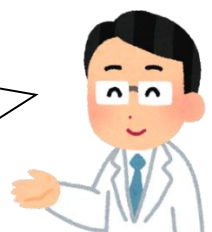
★水分について★
午前手術の方は翌朝3時まで
午後手術の方は翌朝7時まで
水やお茶のみ、飲むことができます

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 手術に対する不安がないように支援します
- 手術の準備をすすめられるように支援します



ご家族の方へ

手術当日は（ ）時までに病棟にお越しください
手術中は、必ず院内でお待ちください（2階フロア・4階家族控え室など）
必ず所在を明らかにし、連絡が取れるようお願いいたします
手術後、主治医から手術の結果について説明があります
他の患者さんの手術の関係で手術後すぐに説明できない場合は、お待ちいただくことをご了承ください

HCU（高度治療室）に入室する患者さんのご家族の方へ

手術が終わりましたら、病棟看護師がHCUへ案内します
手術後HCU前室で医師より手術結果について説明があります
手術当日は来院に30分以上かかる場合は、患者宿泊施設「向日葵」に宿泊をお願いしています
*HCU面会時は、患者さん用エレベーターをご利用ください

病室で付き添いを希望される場合には、医師の許可が必要となりますので看護師にお申し出ください
布団のレンタルを希望される場合は、2階 医療品ショップ「くろ～ば～」でお尋ねください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう



手術後の目標

- ・痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる
- ・血尿スケールが比色2以下である

手術後は、時間を決めて以下のことを行います

検温、血圧測定、状態観察

- ・帰室時、帰室後15分、30分、1時間、以後1～2時間ごとに行います（これ以外にも必要なとき測定します）

深呼吸

- ・目が覚めたら大きく深呼吸をしましょう

うがい

- ・ベッドに横になったまま行います（看護師がお手伝いします）
- ・医師の許可があるまで、飲水はできません

活動

- ・ベッドの頭側を少し上げます
- ・足の屈伸や膝立、腕の運動は、痛みがない程度に自分で行いましょう
- ・体を横向きにするときは、看護師がお手伝いします

手術後の傷

- ・傷口には透明の保護テープを張っています
手術後4日目にはがします

背中の管（硬膜外麻酔）

- ・背中（硬膜外）に入った管から痛み止めのお薬が持続的に入ります（点滴の場合もあります）
- ・痛みが強い場合は、追加で痛み止めを使います
- ・痛みがある場合は、看護師にお知らせください

排液のための管

- ・溜まった血液などを出すために、手術をした部位に管（ドレーン）が入ります

医療スタッフの目標

- ・手術後の合併症の早期発見に努めます
- ・床ずれの予防に努めます



手術後の患者さんの様子

心電図モニター

- 手術後の状態を安全に管理します
- 血圧を測定するための点滴の管が動脈に入っています

血圧計

- 適宜測定します

酸素マスク

麻酔が完全に覚めるのを助け、手術後の呼吸状態を安定に保ちます

酸素濃度測定器

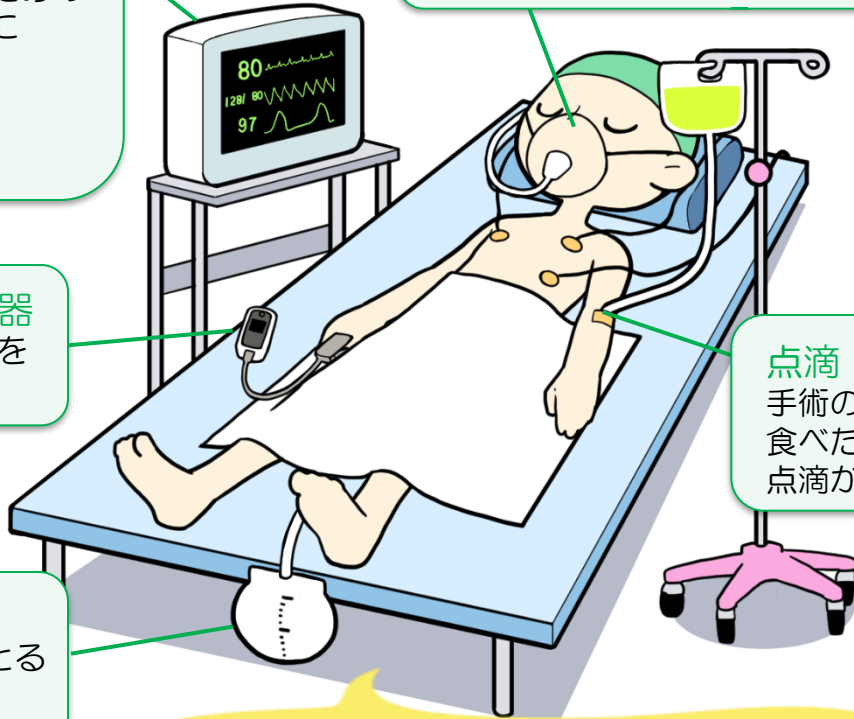
体の酸素の状態を観察します

点滴

手術の後は飲んだり食べたりできないため点滴があります

尿の管

手術中に尿をとる管が入ります

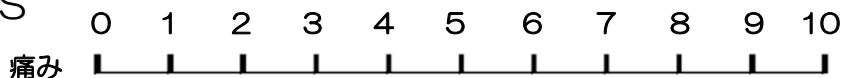


急に動くとチューブ類が抜ける場合があります
体の向きを変えたいときは看護師にお知らせください

手術後の痛みについて

手術後の痛みについては、痛みの程度を看護師が数字でお聞きします（NRS）
数字での表現が難しいときは、フェイススケールでお答えください

1) NRS



全く痛くない

これ以上耐えられないほど
ひどい痛み

2) フェイススケール



0

1

2

3

4

5

痛みがない

少しか
痛い

もう少し
痛い

もっと
痛い

かなり
痛い

もっとも
痛い

手術後1日目 月 日



今日の目標

- ・痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる
- ・お腹が張って苦しい感じがない
- ・ベッドの横に立って足踏みをすることができる
- ・血尿スケールが比色2以下である

<時間>

<予定>

6:00

起床
温かいタオルをお持ちします
ベッドの上でうがい、歯磨きをしましょう

10時までは1～2時間毎に
検温、血圧測定をします

酸素吸入を終了します（6:00～8:30頃）
血液検査

9:00

心電図モニターを外します
回診

尿量や排液の計測

- ・排液のための管が入っている場合は量の計測をします

体を拭き、着替えます（看護師がお手伝いします）

10:00

HCU入室されている方は病棟に戻ります
（午後から病棟に戻る場合もあります）

12:00

昼食（全粥）

昼から食事が始まります
点滴は本日で終了です

13:00

医療スタッフと一緒にベッドの横に立って
足踏み、歩行をしましょう

14:00

検温、血圧測定

体重を測定します（ ）kg



18:00

夕食（全粥）

19:00

検温、血圧測定

- ・体には尿の管やドレーン、痛み止めのチューブが繋がっています
動くときには引っ張らないように注意しましょう
- ・尿の袋は下腹より下にしましょう

21:00

洗面、歯磨き

21:30

消灯

尿の管を固定しているテープが、はがれていないか確認しましょう
はがれたら看護師にお知らせください



医療スタッフの目標

- ・手術後の合併症の早期発見に努めます
- ・床ずれの予防に努めます



今日の目標

- ・痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる
- ・水分を1500ml以上とることができる
- ・血尿スケールが比色2以下である

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

体重測定 () kg

尿量や排液の計測

- ・排液のための管が入っている場合は、量の計測をします
- ・尿の袋は下腹より下にしましょう

7:30

朝食（塩分を控えた食事）

9:00

回診
傷口のガーゼを外します
医師の判断で、管（ドレーン）を抜き、ガーゼを当てます
（排液の量や色によって抜けないこともあります）
体を動かした後、ガーゼが汚れる場合があります
ガーゼが汚れたら、看護師にお知らせください



10:00

検温、血圧測定
看護師と一緒に歩きましょう

12:00

昼食（塩分を控えた食事）

13:00

体を拭きます
できるところは自分で拭いてみましょう

14:00

検温、血圧測定
歩く練習をしましょう

18:00

夕食（塩分を控えた食事）

19:00

検温、血圧測定

21:30

消灯

病棟内の歩行に制限はありません
廊下を歩いて体を動かすように
しましょう



医療スタッフの目標

- ・手術後の合併症の早期発見に努めます
- ・床ずれの予防に努めます



今日の目標

- ・痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる
- ・水分を1500ml以上とることができる
- ・血尿スケールが比色2以下である

<時間>

<予定>

6:00

起床

水分をしっかりとりましょう
水分摂取量を記入しましょう



体重測定 () kg

7:30

朝食

9:00

回診

10:00

検温、血圧測定

膀胱造影検査（2階Hブロック）
検査の結果により、尿の管を抜きます
管が抜けたら、排尿日誌を書きましょう（最終ページ）

排尿日誌は毎日記入しましょう
※排尿日誌は、退院前日に看護師に提出してください

12:00

昼食

シャワー浴をしましょう



18:00

夕食

栄養士より、手術後の
食事の注意点や工夫に
ついて説明があります



21:30

消灯



医療スタッフの目標

- ・手術後の合併症の早期発見に努めます

尿の管が抜けた後の注意すべき症状

- 血尿が濃くなる
- 血の塊が出る
- 尿が出にくい
- 残尿感がある
- 下腹部が張る

などの症状があるときは、看護師または医師にお伝えください

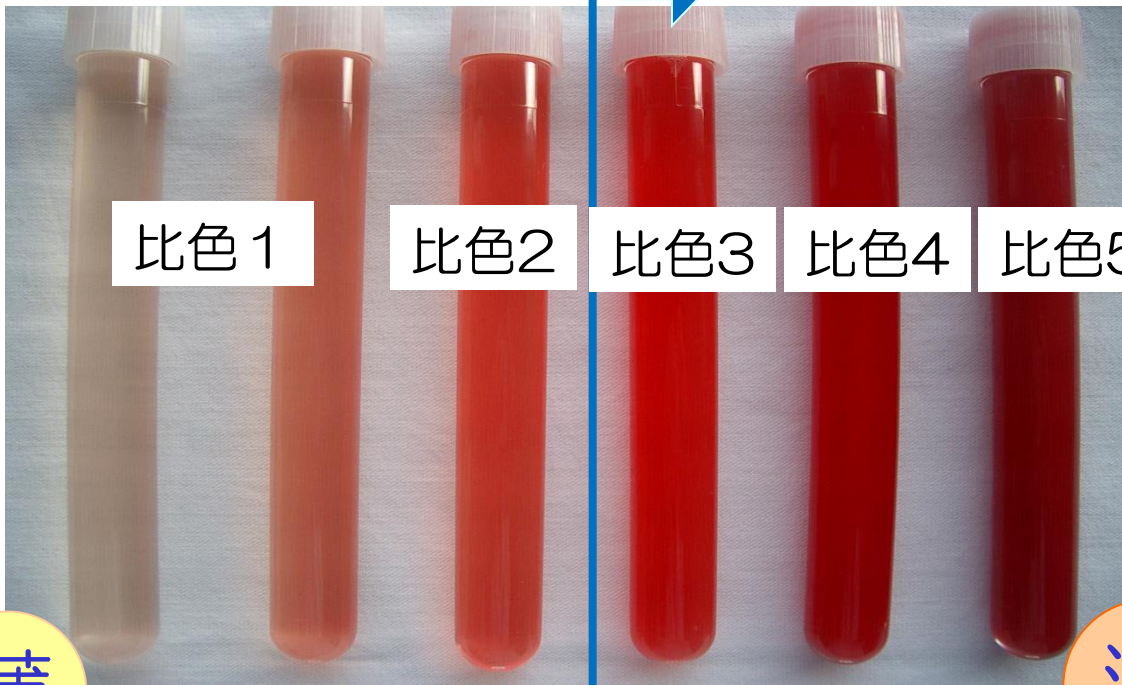
血尿が濃くなった場合、
カップをお渡ししますので
血尿の程度を確認してみましょう

血尿の濃さについてお聞きします
下の表を参考に、血尿の濃さ
をお伝えください



※**比色3以上**になったら
看護師に知らせてください

血尿スケール



薄

濃

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう



今日の目標

- 痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる
- 水分を1500ml以上とることができる
- 血尿スケールが比色2以下である
- 日常生活の注意点について理解できる

<時間>

<予定>

6:00

起床

水分をしっかりとりましょう
水分摂取量を記入しましょう



体重測定 () kg

7:30

朝食

9:00

回診

手術の傷の糸を抜きます
血液検査

10:00

検温

血圧測定

排尿日誌は毎日記入しましょう

※排尿日誌は、退院前日に看護師に提出してください

12:00

昼食

看護師から退院後の日常生活について説明があります

シャワー浴をしましょう



18:00

夕食

21:30

消灯



医療スタッフの目標

- 手術後の合併症の早期発見に努めます
- 退院後の日常生活に不安がないように支援します



今日の目標

- 水分を1500ml以上とることができる
- 血尿スケールが比色2以下である
- 退院後の日常生活の注意点について理解できる

<時間>

<予定>

6:00

起床

水分をしっかりとりましょう
水分摂取量を記入しましょう



7:30

朝食

9:00

回診

10:00

検温、血圧測定

排尿日誌は毎日記入しましょう
※排尿日誌は、退院前日に看護師に提出してください

12:00

昼食

シャワー浴をしましょう



看護師から退院後の日常生活について説明があります



18:00

夕食

21:30

消灯



医療スタッフの目標

- 退院後の日常生活に不安がないように支援します

退院日 月 日



今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

7:30

朝食

9:00

回診

次回予約票をお渡しします

10:00

退院

退院前に忘れ物がないようにご確認ください

「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので、
2階でお支払ください

昼間に水分を
しっかりとり、
夜は控えましょう



次回外来受診は

月 日 () 時の予定です

* 外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう



医療スタッフの目標

- ・退院後の日常生活に不安がないように支援します

退院後の日常生活について

● 食事

- ・栄養士から説明のあった内容を参考にし、食事をとりましょう
- ・塩分のとりすぎに注意しましょう
- ・バランスのよい食事をとるようにしましょう
- ・水分摂取は1日2000ml を目標にしましょう



● 活動

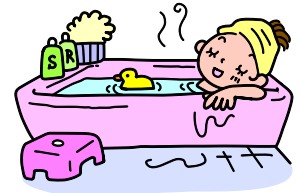
- ・規則正しい生活をして、適度な運動をしましょう
- ・まずは軽い散歩や買い物から始めてみましょう
- ・徐々に疲れない程度に活動量を増やしていきましょう
- ・自転車やバイク、自動車の運転は十分に気をつけて徐々に慣らしていきましょう
- ・長時間の運転を行うときは早めに休憩をとり、トイレに行きましょう

● 排泄

- ・規則的な排便習慣をつけることが大切です
朝食後、トイレに行く習慣をつけましょう
便秘気味の方は退院までに医療スタッフと対処方法について相談しておきましょう

● 入浴

- ・体を清潔に保つことが大切です
- ・毎日入浴またはシャワー浴をするように心がけましょう
- ・お腹の傷のところも、やさしく石けんで洗ってください



● お薬

- ・薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください
- ・他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください

● 仕事

- ・これから先、安心して働き続けるためには
体の状態に合わせた休み方や働き方が必要に
なることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」を
サポートしています

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください



ちりょうさ
厚生労働省『治療と仕事の両立支援』キャラクター

ちょっと待って！
今 辞めないで
その仕事

● その他

- ・定期受診は必ず受けるようにしましょう



- 38.0℃以上の熱が出たとき
- 1日2000ml程度水分を摂取しても血尿（比色3以上）が続くとき
- 傷に異常があるとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30~17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更
【平日】 13:00~17:00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112



腎尿管全摘除術を受けられる方へ